

平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		後期高齢者医療一般事務		款	1	項	1	目	1	事業	1	整理番号	644	
担当部課名		保健福祉部国保年金課		係名	高齢者医療係			連絡先電話番号	1283	昨年度整理番号	626			
上位施策No・施策名										104	後期高齢者医療事業の運営		予算事業区分	既定事業
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	20	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号		施策番号		事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業	
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等	(1)	高齢者の医療の確保に関する法律・同施行令・同規則				
	75歳以上及び65歳以上74歳以下で政令で定める障害のため認定を受けた高齢者								(2)	杉並区高齢者の医療に関する条例・同規則				
	事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか） ○高齢者の心身の特性や生活実態などを踏まえて、高齢者にふさわしい医療が受けられるよう制度の維持に努める。								活動指標名(式) (1) 後期高齢者医療被保険者数 (2) 後期高齢者医療保険料賦課決定・納入通知書発送件数					
活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） ○東京都後期高齢者医療広域連合との役割分担により、区は保険証の引渡し、加入や資格喪失届出、各種申請の受付及び保険料の徴収を行う。								成果指標 ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 保険料収納率(5月31日現在の数値) 算定式・指標の説明等 保険料収納額/保険料調定額 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等						
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%		
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	(目標値)				
指標	活動指標(1)	①	人	49,199	49,199	50,560	52,100	51,966	52,540	98.9	99.7			
	活動指標(2)	②	件		60,000	74,146	60,000	59,781	68,600	87.1	99.6			
	成果指標(1)	③	%		98	97	98	98	98	100.0	100.0			
	成果指標(2)	④												
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	120,062	39,212	37,863	75,882	56,725	98,390	21年度予算執行率% 74.8				
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項				
	(内)委託費	⑦	千円	101,094	33,106	32,587	64,776	52,950	92,391					
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	2.20 0.00	15.50 0.00	11.40 1.00	9.20 1.00	11.00 1.00	11.50 0.50					
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	20,108	140,275	103,170	81,687	97,669	102,109				
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	2,800	2,793	2,793	1,397				
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	140,170	179,487	143,833	160,362	157,187	201,896					
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円	2,849	3,648	2,845	3,078	3,025	3,843					
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0	0				
		国からの補助金等	⑭	千円	46,098	0	0	0	18,891	0				
都からの補助金等		⑮	千円		0	0	0	0	0					
その他の補助金等		⑯	千円		0	7,924	0	6,013	0					
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	46,098	0	7,924	0	24,904	0					
差引:一般財源(⑰-⑬)		⑱	千円	94,072	179,487	135,909	160,362	132,283	201,896					
受益者負担比率⑬÷⑪		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 644

21年度の事業実施状況	内容	規模	整理番号 644	
			単位	事業費(千円)
(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	保険料当初通知封入封緘委託	1	件	5,300
	年齢到達者被保険者証発送	4,444	人	1,669
	督促状等発送	23,240	人	1,380
	パンフレット作成・発送	51,220	人	5,129
	その他 (口座開始お知らせ通知等)			
(2)事業実績	制度についてわかりやすく説明したガイドブックや、保険料改正時の案内などを区独自で作成し、加入者全員に個別に送付しました。			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	制度の周知不足もあり、被保険者ばかりでなく、現場の混乱をも招きました。次々に新たな制度変更があり、事務処理に追われましたが、2年が経過し、制度が定着してきました。		
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	制度が分かりにくいとの意見があります。国民健康保険料に比べ、保険料が高いと言われます。		
	今後の予測	制度が定着しつつありますが、現在、国において制度の変更が検討されていますので、検討結果を注視していきます。		
事業のあり方点検	左の理由または具体的内容			
	(1)施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由→)	理由または具体的内容:後期高齢者医療制度により、高齢者が安心して医療を受けることができ、疾病の早期発見・治療に役立っています。		
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(②へ↓)	後期高齢者医療制度の趣旨を区民が理解し、制度運営が軌道に乗ればできます。		
	②成果向上のための方策 その他(具体的内容→)	制度の周知に努め、区民に制度を理解してもらうことです。		
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)	医療機関での自己負担や保険給付費の1割を保険料で賄うなど、受益者負担は十分できています。		
(4)コストを下げる余地はあるか ある[その他](具体的内容→)	スケールメリットを活かし、広域連合で印刷・封入封緘を行っています。			
協働等点検	(1)協働等は実現しているか 十分に実現している	(2)協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体((3)へ)		
	(3)協働等の形態 協働[その他]	(4)協働等の今後のあり方 推進		
評価と課題	後期高齢者医療制度は、高齢者の医療費の大幅な増加や少子化に対応し、国民皆保健を維持するために検討を重ねた結果始まった制度ですが、制度の真の目的が国民に十分に伝わっていない面もあります。2年が経過し、制度も定着してきた感もありますが、今後制度の変更も検討されていますので、状況を見据えながら周知及び事業執行を行っていくことが課題です。			

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	<input checked="" type="radio"/> 増	<input type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 減	コスト:	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	広域連合との役割分担により、区は保険証の引渡し、加入や資格喪失届出や各種申請の受付及び保険料の徴収を行いました。							
	(2)改革案の概要(いつまでに、どういうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入	22年度以降も同様の事務を継続します。							
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	制度の内容変更が相次いだため、高齢者にとって、非常に複雑かつ分かりにくいものとなりました。わかりやすい文章での広報やDMを使用したPRを行うとともに、問い合わせがあった際は丁寧な説明を行います。							
23年度方針	(1)23年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input type="radio"/> 増	<input type="radio"/> 増減なし	<input checked="" type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input type="radio"/> 予算なし		
	(2)理由	被保険者証の更新を行った22年度に比し、郵送料(簡易書留)分が減となります。							

平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		広域連合分賦金		款	2	項	1	目	1	事業	1	整理番号	645	
担当部課名		保健福祉部国保年金課		係名	高齢者医療係		連絡先電話番号		1283		昨年度整理番号	627		
上位施策No・施策名										104	後期高齢者医療事業の運営		予算事業区分	既定事業
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	20	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業		
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		東京都後期高齢者医療広域連合		根拠法令等		(1) 高齢者の医療の確保に関する法律・同施行令・同規則 (2) 東京都後期高齢者医療広域連合規約						
	事業の目標	(対象をどのような状態にしたいのか) ○東京都のすべての自治体で組織する後期高齢者医療広域連合の経費の一部を区の負担金として支出。		活動指標名(式)		(1) 75歳以上人口(1月1日現在) (2)								
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順) ○区の被保険者数に見合った各分担金を支払う。		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 分賦金支払回数 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等								
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%		
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	(目標値)				
指標	活動指標(1)	①	人	46,903	49,199	48,800	49,978	50,573	51,307	98.6	101.2			
	活動指標(2)	②												
	成果指標(1)	③	件	2	17	17	18	18	20	90.0	100.0			
	成果指標(2)	④												
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	77,948	9,264,554	8,545,914	9,733,272	9,118,588	10,896,265	21年度予算執行率% 93.7				
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 ○20年度から療養給付費負担金、保険料負担金も負担しているため、19年度の準備段階に比べ、金額が大幅に増えています。				
	(内)委託費	⑦	千円	0	0	0	0	0	0					
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.30 0.00	0.50 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00				
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	2,742	4,525	9,050	8,879	8,879	8,879				
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0	0				
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	80,690	9,269,079	8,554,964	9,742,151	9,127,467	10,905,144					
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円	1,720	188,400	175,307	194,929	180,481	212,547					
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0	0				
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0	0				
都からの補助金等		⑮	千円		0	0	0	0	0					
その他の補助金等		⑯	千円		0	0	0	0	0					
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	0	0	0	0	0	0					
差引:一般財源(⑪-⑰)		⑱	千円	80,690	9,269,079	8,554,964	9,742,151	9,127,467	10,905,144					
受益者負担比率⑬÷⑪		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 645

21年度 の事業 実施 状況	(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規 模	単 位	事業費(千円)
				東京都後期高齢者医療広域連合への分賦金の支出	18
		その他 ()			0
	(2)事業実績	保険料等負担金、療養給付費負担金、保健基盤安定負担金、保険料軽減措置負担金、事務費負担金を支払いました。			
事業環境 の 変化	事業開始当初から現在までの変化	平成19年度の準備段階から、事務費等を負担しています。20年度から療養給付費負担金、保険料負担金も支払っているため、金額が大幅に増えています。			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	住民からの意見はありません			
	今後の予測	療養給付費は、平成20年度は11ヶ月ですが、21年度以降は12ヵ月分となるため、事業費が増えています。22年度は保険料改定の年ですので、今後は保険料負担金が増となります。また、新たに葬祭費負担金の支出も始まりました。			
事業の あり 方 点 検	(1)施策への貢献度は大きい 貢献度 小(理由→)	左の理由または具体的内容			
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由→)	規約に定められた負担金のため、特に施策に反映する点はありません。			
	②成果向上のための方策				
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)	規約に定められた負担金を支出する事業であるためです。			
	(4)コストを下げる余地はあるか ある[その他](具体的内容→)	保険料軽減等で、国の公費負担額が増えれば、下げられると思います。			
協働等 点 検	(1)協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)((4)へ)	(2)協働等の相手			
	(3)協働等の形態	(4)協働等の今後のあり方	行政直轄		
評価と課題	東京都後期高齢者医療広域連合は、区との役割分担により、給付や被保険者証印刷・封入等の事務等を担っているため、区が負担金を支払い、連合を維持運営していくことは非常に重要なことです。しかし、新たな給付制度等も加わり、後期高齢者医療制度を維持するために区の負担金は増加しています。後期高齢者医療制度は国により見直しが検討されていますが、区としての意見を述べていくことも必要です。				

改善・見直しの方向(中長期)	成果: ○ 増 ● 現状維持 ○ 減	コスト: ○ 増 ● 現状維持 ○ 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入		
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法		
23年度方針	(1)23年度予算見積りの方向性	○ 大幅増 ● 増 ○ 増減なし ○ 減 ○ 大幅減 ○ 予算なし	
	(2)理由	医療費は年々増となっていますので、保険料等負担金についても増となることが予測されます。	

平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		後期高齢者健康診査		款	3	項	1	目	1	事業	1	整理番号	646	
担当部課名		保健福祉部国保年金課		係名	高齢者医療係		連絡先電話番号		1283		昨年度整理番号	628		
上位施策No・施策名										104	後期高齢者医療事業の運営		予算事業区分	既定事業
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	20	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業		
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理			後期高齢者医療被保険者		根拠法令等		(1) 高齢者の医療の確保に関する法律 (2) 東京都後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例					
	事業の目標	(対象をどのような状態にしたいのか)			○高齢者の健康診査を行うことにより、高齢者の健康の増進と疾病の予防に役立て、医療費の適正化に資する。		活動指標名(式)		(1) 健康診査受診者数 (2)					
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順)			○東京都後期高齢者医療広域連合と健診事業について契約を交わし、健診実績により受託収入の支払を受ける。杉並保健所健康推進課に予算の令達を行い、健診事業を実施		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 健診率 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等					
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%		
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	(目標値)				
指標	活動指標(1)	①	人		28,220	19,257	31,260	21,155	31,600		66.9	67.7		
	活動指標(2)	②												
	成果指標(1)	③	%		60.0	39.9	60.0	43.1	60.0		71.8	71.8		
	成果指標(2)	④												
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	0	277,125	189,097	292,602	289,132	292,829	21年度予算執行率%		98.8		
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項				
	(内)委託費	⑦	千円	0	275,210	189,097	292,602	289,132	292,829					
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.00 0.00	0.20 0.00	0.20 0.00	0.20 0.00	0.20 0.00	0.20 0.00	0.50 0.00				
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	0	1,810	1,810	1,776	1,776	4,440				
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0	0				
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	0	278,935	190,907	294,378	290,908	297,269					
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円		9,884	9,914	9,417	13,751	9,407					
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0	0				
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0	0				
都からの補助金等		⑮	千円		0	0	0	0	0					
その他の補助金等		⑯	千円		61,932	64,703	105,033	71,081	130,200					
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	0	61,932	64,703	105,033	71,081	130,200					
差引:一般財源(⑰-⑬)		⑱	千円	0	217,003	126,204	189,345	219,827	167,069					
受益者負担比率⑬÷⑪		%		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 646

21年度の事業実施状況	(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		医療衛生委託	1	件	254,522
	事務処理委託	1	件	30,409	
	その他(郵送料)			4,201	
(2)事業実績	健康推進課に予算を令達し、事務を執行しました。健診項目は、生活習慣病の早期発見に着目した特定健診の必須項目を基本に設定しています。				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	後期高齢者医療の被保険者の健診は、法では努力義務となっています。後期高齢者医療制度は、国において制度の変更が検討されていますので、健診についても変更される可能性があります。			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	誕生日健診のほうがわかりやすかったとの意見があります。			
	今後の予測	昨年度に引き続き、健診実施月が6月～1月となったことを広報等により周知し、被保険者の理解を得る必要があります。			
事業のあり方点検	(1)施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由→)	左の理由または具体的内容 高齢者の場合、入院や老人ホーム等施設への入所者が多いため、健診を受診できる方は全被保険者の半数程度だからです。			
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(②へ↓) ②成果向上のための方策 その他(具体的内容→)	受診率が上がれば成果を向上させることができます。 受診の案内をわかりやすくするとともに、高齢者が受診しやすい環境を作る必要があります。			
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)	広域連合では、1人500円の自己負担金を徴収することとしていますが、杉並区は特定健診と同様の扱いとし、自己負担なしで実施しています。			
	(4)コストを下げる余地はあるか ない(理由→)	受診票等の印刷は、健康推進課において特定健診や生活機能評価と合わせて行うことによりコストダウンを図っています。			
	協働等点検	(1)協働等は実現しているか 十分に実現している	(2)協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体((3)へ)		
	(3)協働等の形態 委託[業務量の50%以上に相当]	(4)協働等の今後のあり方 実施継続			
評価と課題	従来の誕生日健診から年2回の発送となったこと、費用決済の関係から、受診期限が年度末までとなったこと等により区民に混乱が生じました。また、健診実施機関から区に対し、3月末までに受診結果の報告が無い場合は、広域連合からの受託収入が得られない等の問題もあります。被保険者には広報・パンフレットによる周知、健診機関には契約時における周知徹底が必要です。				

改善・見直しの方向(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記) 21年度までは、成人等健診・特定健診・後期高齢者健診は同一の受診案内を使用していましたが、22年度から、後期高齢者用に独自の案内を作成し配付しました。
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入 被保険者に対しわかりやすい案内や周知方法について工夫する必要があります。
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 受診券送付方法が変更になって2年がたちますが、周知が行き届いていない感があります。今後も、被保険者に対し一層の周知を行う必要があります。
23年度方針	(1)23年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2)理由 60パーセントの受診率を見込んで予算を見積っています。

平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		葬祭費の支給		款	3	項	1	目	2	事業	1	整理番号	647			
担当部課名		保健福祉部国保年金課		係名	高齢者医療係		連絡先電話番号		1283		昨年度整理番号	629				
上位施策No・施策名										104	後期高齢者医療事業の運営		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	20	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業					
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理			根拠法令等		(1) 杉並区後期高齢者の被保険者の死亡に伴う葬祭費支給要綱(旧) (2) 杉並区後期高齢者医療葬祭費及び付加給付金支給事務要綱(新)									
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○後期高齢者の葬祭執行者に葬祭費を支給		活動指標名(式)		(1) 葬祭費支給件数 (2)										
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○後期高齢者の葬祭執行者の申請により、葬祭執行者に7万円限度で葬祭費を支給(旧要綱該当者) ○後期高齢者の葬祭執行者に5万円の葬祭費及び2万円の付加給付を支給(新要綱該当者)		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等										
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%				
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	(目標値)						
指標	活動指標(1)	①	件		2,400	2,035	2,400	2,398	2,050	117.0	99.9					
	活動指標(2)	②														
	成果指標(1)	③														
	成果指標(2)	④														
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円		166,311	142,442	167,860	167,860	143,500	21年度予算執行率% 100.0						
	(内)投資的経費等	⑥	千円							特記事項 ○22年度計画の数値は、新要綱に該当する件数・事業費のみとなっています。						
	(内)委託費	⑦	千円		0	0	0	0	0							
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人		1.80	0.00	1.80	0.00	1.50			0.00	1.80	0.00	1.00	0.50
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	0	16,290	16,290	13,319	15,982			8,879				
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0			1,397				
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	0	182,601	158,732	181,179	183,842	153,776							
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円		76,084	78,001	75,491	76,665	75,013							
	財源	受益者負担分	⑬	千円		0	0	0	0			0				
		国からの補助金等	⑭	千円		0	0	0	0			0				
都からの補助金等		⑮	千円		0	0	0	0	0							
その他の補助金等		⑯	千円		0	0	0	0	102,500							
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	0	0	0	0	0	102,500							
差引:一般財源(⑪-⑰)		⑱	千円	0	182,601	158,732	181,179	183,842	51,276							
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 647

21年度 の事業 実施 状況	(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				葬祭費の支給	2398
		その他 ()			0
	(2)事業実績	後期高齢者の葬祭執行者からの請求に基づき葬祭費を支給しました。			
事業環境 の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成20年度の後期高齢者医療制度開始時から区の予算で葬祭費を支給してきましたが、平成22年度からは支給額7万円のうち5万円を後期高齢者医療広域連合からの交付金、区から2万円を付加給付し支給しています。			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	国民健康保険の葬祭費と同額なので、喜ばれています。			
	今後の予測	被保険者数の増加に伴い、葬祭費の申請件数も増加していくものと考えます。			
事業の あり 方 点 検	(1)施策への貢献度は大きいか 貢献度 小(理由→)	左の理由または具体的内容			
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由→)	葬祭を行った方への補助金であるためです。			
	②成果向上のための方策				
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)	葬祭を行った方への補助金であるためです。			
	(4)コストを下げる余地はあるか ある[手段・方法の変更](具体的内容→)	財源を被保険者の保険料に上乗せすることになれば、区の持ち出しを減らすことができます。			
協働等 点 検	(1)協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)((4)へ)	(2)協働等の相手			
	(3)協働等の形態	(4)協働等の今後のあり方 行政直轄			
評価と課題		葬祭費の支給は本来保険給付で行うべきものですが、21年度までは全額を区で補助していました。22年度からは5万円は東京都後期高齢者医療広域連合の保険給付事業として5万円が給付されるため、区の負担は2万円となりました。ただし、広域連合からの給付金の財源が被保険者の保険料ではなく、区の負担金からとなりましたので、結果的に区の支出はほとんど変わっていません。今後も他区市町村及び広域連合等との協議を行っていく必要があります。			

改善・見直しの方向(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記) 22年度からは東京都後期高齢者医療広域連合の保険給付事業として5万円が給付されるため、区の負担は2万円となりました。ただし広域連合の給付の財源は区の負担金となっています。	
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ※事業のあり方点検を踏まえて記入	
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 22年度から給付金の一部が広域連合の保険給付事業となったので、当分の間変更される予定はありません。区の負担金を減らすためには負担金に見合う金額を被保険者の保険料に反映させる必要が生じます。	
23年度方針	(1)23年度予算見積りの方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2)理由	被保険者数の増加に伴い、葬祭費の申請件数も増加していくものと考えます。

平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		後期高齢者医療保険保健事業		款	3	項	1	目	2	事業	2	整理番号	648	
担当部課名		保健福祉部国保年金課		係名	高齢者医療係		連絡先電話番号		1283		昨年度整理番号	630		
上位施策No・施策名										104	後期高齢者医療事業の運営		予算事業区分	既定事業
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	20	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業		
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理			後期高齢者医療制度の被保険者		根拠法令等		(1) 高齢者の医療の確保に関する法律 (2)					
	事業の目標	(対象をどのような状態にしたいのか)			○被保険者が夏季保養施設を利用することで、心身をリフレッシュし、健康の増進に役立てる。		活動指標名(式)		(1) 夏季施設の借上げ数 (2)					
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順)			○被保険者の健康増進のため、夏季保養施設を借上げる。		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標					
				成果指標名(1)		夏季施設利用率		算定式・指標の説明等		成果指標名(2)		算定式・指標の説明等		

区分	単位	19年度		20年度		21年度		22年度	目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%		
		実績	計画	実績	計画	実績	計画	計画(目標値)				
指標	活動指標(1)	①	件		5	5	7	7	7	100.0	100.0	
	活動指標(2)	②										
	成果指標(1)	③	%		100	100	100	96	100	96.0	96.0	
	成果指標(2)	④										
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	0	1,689	1,688	2,331	1,813	2,331	21年度予算執行率% 77.8		
	(内) 投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項		
	(内) 委託費	⑦	千円	0	0	0	0	0	0			
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.00 0.00	0.10 0.00	0.10 0.00	0.10 0.00	0.10 0.00	0.10 0.00	0.10 0.00		
	人件費	(内) 常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	0	905	905	888	888	888		
		(内) 非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0	0		
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	0	2,594	2,593	3,219	2,701	3,219			
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円		518,800	518,600	459,857	385,857	459,857			
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0	0		
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0	0		
都からの補助金等		⑮	千円		0	0	0	0	0			
その他の補助金等		⑯	千円		0	1,688	0	1,813	0			
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	0	0	1,688	0	1,813	0			
差引: 一般財源(⑰-⑬)		⑱	千円	0	2,594	905	3,219	888	3,219			
受益者負担比率⑬÷⑪		%		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 648

21年度の事業実施状況	(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
			夏季施設借上げ料金の助成	2	施設
		その他 ()			0
	(2)事業実績	被保険者が夏季施設を家族と利用し、健康増進に役立てられるよう、借り上げました。国民健康保険事業と共同で実施し、7施設9部屋のうち2施設分を当事業で負担しています。			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	20年度からの実施です。			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	施設数をもっと増やしてほしいという要望があります。 温泉利用券を国保同様に配布してほしいという要望があります。			
	今後の予測	21年度から2施設増やしましたが、これ以上の増は困難です。			
事業のあり方点検	(1)施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由→)	左の理由または具体的内容			
		健康増進事業として、被保険者の心身のリフレッシュに貢献しています。			
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由→)	施設数を増やすことは賃借料の増大となります。			
	②成果向上のための方策				
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)	施設借り上げ料のみの支出であり、食事等は利用者負担です。			
	(4)コストを下げる余地はあるか ない(理由→)	ニーズの高い事業であり借上げ施設数を減らすことはできません。			
協働等点検	(1)協働等は実現しているか 十分に実現している	(2)協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)			
	(3)協働等の形態 委託 [業務量の50%未満に相当]	(4)協働等の今後のあり方 実施継続			
評価と課題	夏季施設借上げに対しては、広域連合の健康増進事業補助金を受けられるため、22年度以降も実施し、高齢者の健康増進に寄与していきます。その他の高齢者にふさわしい保健事業についても検討する必要があります。温泉利用権の発行については、一自治体としてできることではありませんので、保険者である広域連合が検討中です。				

改善・見直しの方向(中長期)	成果: ○ 増 ● 現状維持 ○ 減	コスト: ○ 増 ● 現状維持 ○ 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	国民健康保険加入時と同様、高齢者が夏季施設を利用できるようにしました。	
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入	今後も実施しています。	
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法		
23年度方針	(1)23年度予算見積の方向性	○ 大幅増 ○ 増 ● 増減なし ○ 減 ○ 大幅減 ○ 予算なし	
	(2)理由	これ以上の施設借り上げは困難ですので、現状を維持していきます。	

平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		保険料の還付		款	4	項	1	目	1	事業	1	整理番号	649		
担当部課名		保健福祉部国保年金課		係名	高齢者医療係			連絡先電話番号	1283			昨年度整理番号	631		
上位施策No・施策名										104 後期高齢者医療事業の運営		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	20	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業				
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理			後期高齢者医療制度の被保険者		根拠法令等	(1) 高齢者の医療の確保に関する法律 (2)							
	事業の目標	(対象をどのような状態にしたいのか)			○迅速かつ適切に還付処理を行う。		活動指標名(式)	(1) 還付件数 (2) 還付総金額							
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順)			○過誤納付となった保険料を還付または滞納額に充当します。		成果指標	※(代)=適当な指標がない場合の代替指標							
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%			
			実績		計画		実績		計画		実績		目標値(目標値)		
指標	活動指標(1)	①						500	841	1,500	56.1	168.2			
	活動指標(2)	②						10,000	15,597	25,000	62.4	156.0			
	成果指標(1)	③													
	成果指標(2)	④													
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	0	1	0	28,579	15,597	25,001	21年度予算執行率%		54.6			
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項					
	(内)委託費	⑦	千円	0	0	0	0	0	0						
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.00	0.00	0.00	0.00	2.00	0.00	2.00	0.00	1.00	1.00		
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	0	0	0	17,758	17,758	8,879					
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0	2,793					
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	0	1	0	46,337	33,355	36,673						
	単位あたりコスト	⑫	円				92,674	39,661	24,449						
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0	0					
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0	0					
都からの補助金等		⑮	千円		0	0	0	0	0						
その他の補助金等		⑯	千円		0	0	0	0	0						
特定財源計		⑰	千円	0	0	0	0	0	0						
差引:一般財源		⑱	千円	0	1	0	46,337	33,355	36,673						
受益者負担比率	⑲÷⑪	%		0.0		0.0	0.0	0.0							

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 649

21年度の事業実施状況	(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
			過誤納保険料の還付	841	件
	その他 ()				0
	(2)事業実績	歳出還付は実績がなかったため、当初予算1,000万円としましたが、実績が予測を上回ったため補正を行いました。			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	20年度は、保険料からの歳入還付のみでしたが、21年度からは歳出還付を行っています。			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	住民の意見は特にありません。			
	今後の予測	現在のところ、還付件数に対する増減の要因はありません。			
事業のあり方点検	(1)施策への貢献度は大きいか 貢献度 小(理由→)	左の理由または具体的内容			
		過誤納保険料の還付であるためです。			
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由→)	過誤納保険料の還付であるためです。			
	②成果向上のための方策				
(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)	過誤納保険料の還付であるためです。				
(4)コストを下げる余地はあるか ない(理由→)	還付する際には、適法に充当する先はあるか、還付先に誤りがないか、など1件ずつ確認や判断が必要なために、手作業が基本となり、コストを下げることは困難です。				
協働等点検	(1)協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)((4)へ)	(2)協働等の相手			
	(3)協働等の形態	(4)協働等の今後のあり方 行政直轄			
評価と課題	住民税額の減額変更や世帯資格に変更があり、保険料納付後に保険料額が減額された被保険者には、取れ過ぎた保険料を還付しています。後期高齢者医療保険の場合、被保険者の死亡も多く、遺族による申請については相続人代表者の手続きが必要など還付が難しい場合もありますが、申請勧奨を徹底していきます。				

改善・見直しの方向(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入		
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法		
23年度方針	(1)23年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2)理由	保険料の過誤納があった場合に対応していきます。	

平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		一般会計繰出金		款	4	項	2	目	1	事業	1	整理番号	650	
担当部課名		保健福祉部国保年金課		係名	高齢者医療係		連絡先電話番号	1283		昨年度整理番号	新			
上位施策No・施策名										104	後期高齢者医療事業の運営		予算事業区分	既定事業
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	21	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業			
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理			根拠法令等		(1) 高齢者の医療の確保に関する法律98条、99条 (2) 東京都後期高齢者医療広域連合規約18条							
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	前年度の一般会計繰入金及び広域連合負担金の償還金を一般会計へ返還することにより、後期高齢者医療事業に対する一般会計の負担を適正なものにする。			活動指標名(式)		(1) 返還義務額 (2) 返還義務件数							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	前年度に一般会計から後期高齢者医療会計へ繰り入れた繰入金の余剰分及び前年度一般会計が負担した広域連合負担金の今年度償還金について一般会計へ返還する。			成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 繰出金 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 繰出件数 算定式・指標の説明等							
区分		単位	19年度	20年度		21年度		22年度		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%			
			実績	計画	実績	計画	実績	計画(目標値)						
指標	活動指標(1)	①	千円			319,205	319,204	95,634		333.8	100.0			
	活動指標(2)	②	件			1	1	1		100.0	100.0			
	成果指標(1)	③	千円			319,205	319,204	95,634		333.8	100.0			
	成果指標(2)	④	件			1.0	1.0	1.0		100.0	100.0			
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円			319,205	319,204	95,634		21年度予算執行率%		100.0		
	(内)投資的経費等	⑥	千円			0	0	0		特記事項				
	(内)委託費	⑦	千円			0	0	0						
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人			0.01	0.00	0.01	0.00	0.01	0.00			
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	0	0	89	89	89					
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0					
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	0	0	319,294	319,293	95,723						
	単位あたりコスト	⑫	円			1,000	1,000	1,001						
	財源	受益者負担分	⑬	千円			0	0	0					
		国からの補助金等	⑭	千円			0	0	0					
都からの補助金等		⑮	千円			0	0	0						
その他の補助金等		⑯	千円			0	0	0						
特定財源計		⑰	千円	0	0	0	0	0						
差引:一般財源		⑱	千円	0	0	0	319,294	319,293	95,723					
受益者負担比率	⑲	%				0.0	0.0	0.0						

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 650

21年度 の事業 実施 状況	(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		前年度繰入金余剰分の繰出	1	件	252,371
	広域連合負担金償還金の繰出	1	件	66,833	
	その他 ()			0	
	(2)事業実績				
事業環境 の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成21年度から開始した新規事業です。			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	事業に対する住民の意見は特にありません。			
	今後の予測	前年度繰入金の余剰分については毎年度返還を行います。			
事業の あり 方 点 検	(1)施策への貢献度は大きい 貢献度 小(理由→)	左の理由または具体的内容			
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由→)	後期高齢者医療制度における一般会計の負担を適正な金額とするために必要です。			
	②成果向上のための方策	適正な一般会計負担を超えた繰入金等について返還を行う事業であるためです。			
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)	前年度の繰入金の余剰分等を財源として返還を行うためです。			
	(4)コストを下げる余地はあるか ない(理由→)	前年度の繰入金の余剰分等を財源として返還を行う事業であるためです。			
協働等 点 検	(1)協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)((4)へ)	(2)協働等の相手			
	(3)協働等の形態	(4)協働等の今後のあり方 行政直轄			
評価と課題	一般会計の負担を適正なものとするため、事業を適切に行いました。				

改善・見直しの方向(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		
	(2)改革案の概要(いつまでに、どういうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入		
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法		
23年度方針	(1)23年度予算見積りの方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2)理由	平成22年度の繰入金余剰分等について、繰出金として返還を行います。	

平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		予備費充当		款	5	項	1	目	1	事業	1	整理番号	651		
担当部課名		政策経営部財政課		係名		連絡先電話番号		昨年度整理番号		632					
上位施策No・施策名										104 後期高齢者医療事業の運営		予算事業区分		既定事業	
事務事業の概要	事業開始		平成	▼	20年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業	
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		後期高齢者医療事業会計		根拠法令等		(1) 地方自治法第217条 (2) 杉並区予算事務規則第22条						
	事業の目標		(対象をどのような状態にしたいのか) ○地方自治法第217条の規定に基づき、予算外の支出または予算超過の支出に備える。		活動指標名(式)		(1) (2)								
	活動内容		(事務事業の内容、やり方、手順) ○予算外の支出に対する予備費の充当 ○予算超過の支出に対する予備費の充当 ○予備費充当は、実際に執行する予算事業科目に所要額をつけかえて行うため、本事業での決算額は常に0円である。		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標		成果指標名(1) 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等						
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%			
			実績		計画		実績		計画		実績		(目標値)		
指標	活動指標(1)		①												
	活動指標(2)		②												
	成果指標(1)		③												
	成果指標(2)		④												
総事業費・コスト把握	事業費		⑤	千円	0	92,529	0	78,340	0	50,000	21年度予算執行率%		0.0		
	(内)投資的経費等		⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項				
	(内)委託費		⑦	千円	0	0	0	0	0	0	過誤納保険料の還付外2件、21,660千円の予備費充当を行いました。なお、21年度計画額は、予備費充当後の予算額となっています。				
	職員数(常勤 非常勤)		⑧	人	0.00 0.00	0.01 0.00	0.00 0.00	0.01 0.00	0.00 0.00	0.01 0.00	0.00 0.00				
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)		⑨	千円	0	91	0	89	0	89				
		(内)非常勤職員分		⑩	千円	0	0	0	0	0	0				
	総事業費⑤+⑨+⑩		⑪	千円	0	92,620	0	78,429	0	50,089					
	単位あたりコスト		⑫	円											
	財源	受益者負担分		⑬	千円	0	0	0	0	0	0				
		国からの補助金等		⑭	千円	0	0	0	0	0	0				
都からの補助金等		⑮	千円		0	0	0	0	0						
その他の補助金等		⑯	千円		0	0	0	0	0						
特定財源計		⑰	千円	0	0	0	0	0	0						
差引:一般財源		⑱	千円	0	92,620	0	78,429	0	50,089						
受益者負担比率		⑲	%	0.0		0.0		0.0							

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 651

21年度 の事業 実施 状況	(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		(2)事業実績			
事業環境 の変化	事業開始当初から 現在までの変化	当初予算額の推移 平成(20)年度100,000千円、(21)100,000千円			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)				
	今後の予測	今後も同規模程度で推移するものと予測します。			
事業の あり 方 点 検	(1)施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由→)	左の理由または具体的内容			
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由→)	後期高齢者医療事業会計の予算外の支出、予算超過に対して充当することとなっているため、貢献度は大きいです。			
	②成果向上のための方策	予算外の主出、予算超過に対して充当するための予算であり、本事業では直接予算執行は行いません。			
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)	性質上、受益者負担になじまない。			
	(4)コストを下げる余地はあるか ない(理由→)	予算外の主出、予算超過に対して充当するための予算であり、本事業では直接予算執行は行いません。			
協働等 点 検	(1)協働等は実現しているか	(2)協働等の相手			
	(3)協働等の形態	(4)協働等の今後のあり方			
評価と課題		予備費充当については、本事業で直接予算を執行するものではなく、予算外の支出、予算超過に対して他の事業に予備費を充当することで予算を執行することが可能となります。これからも区の施策を推進していく中で、予算外の支出等が発生した時に対応できるよう、継続していかなければならない予算と考えます。			

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	コスト:		
	<input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減		
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			
	(2)改革案の概要(いつまでに、どういうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入			
(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法				
23年度方針	(1)23年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし		
	(2)理由	22年度についても、前年度と同規模の予算計上を見込んでいます。		